



橋北中学校だより

令和6年7月19日(金)

第4号 文責:奥田
津市立橋北中学校

より良い2学期を迎えるために

1学期が終わろうとしています。みなさんにとってどんな1学期だったでしょうか。昨年度の途中から、これまでに近い形での教育活動に戻してきましたが、今年度は全校が一堂に集まって行う活動が本格的に戻ってきました。



71日間の1学期には様々な活動や行事が行われました。修学旅行では被爆体験者の方から直接お話を伺い、その後、資料館での見学を行い、あらためて平和の大切さに気づき、平和を願う思いを高めることができたのではないのでしょうか。その思いを下級生にもつなげようと、1階昇降口に掲示してくれています。また、3日間で仲間とふれあい、たくさんのお話をし、互いの良さや個性に気づくことができたのではないのでしょうか。

体育祭では昨年もそうでしたが、自分の学級、学年に限らず、3年生は下級生を応援し、その姿を見た下級生は「自分たちも」と力強い声援を送っていく。上級生の、仲間の姿を見て、変わっていくみなさんに今年も感動しました。

2年生の職場体験学習も行われました。これまでのように、個々で事業所を訪問し、少人数で活動を行うのではなく、仲間と助け合いながら協働してひとつの事を成し遂げていくことを経験し、その大切さを感じてくれたのではないのでしょうか。

これからは予測困難といわれる未来を生きていかなければなりません。そのために、将来の社会の在り方を自分ごととして考え、実現のための目標設定し、そのために必要な変化の実現に向けて行動する力やその行動を振り返り、より良いものにしていく力が求められています。それらの力を育むため「総合的な探究の時間」が高等学校では設けられています。先日、1年生の数学では講師を招き、探究的な課題に

挑戦する授業を実施しました。授業や行事を通して、近い将来または未来に生きる力を身につけて欲しいと願っています。

あらためて1学期はどうだったでしょうか。44日間の夏休みを迎えるにあたり、1学期を振り返ってください。できるようになったこと、反対にできなかったことを振り返り、2学期にどうつなげていくかを考えてください。よかったことをさらに伸ばし、課題は克服できるよう方法を考え、実行しましょう。より良い2学期のスタートが切れるよう、充実した夏休みを過ごして欲しいと思います。もちろん、休養も大切ですし、何よりも健康・安全に毎日を過ごすことが大切です。健康管理、登下校の交通安全に十分留意して、みなさん、元気に2学期を迎えられるようにしてください。

保護者・地域のみなさまには、様々な機会においてご理解とご協力をいただいたこと、本当に感謝しております。引き続き、学校と家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに協力して教育活動を進めていけるよう、温かいご支援をいただきますようお願いいたします。

応援しています！

夏季大会の壮行会でもお伝えしましたが、7月24日から8月11日にかけて開催されるパリオリンピックに橋北中学校の先輩である岡村真（おかむら まな）選手が体操競技で出場されます。もっとも得意な種目は平均台で、平均台のシンデレラ”と評される岡村選手は、わずか10cm幅の台上で、華麗な演技を見せてくれます。女子体操競技は7月28日から8月5日にかけて行われます。

また、8月28日から9月8日にかけて開催されるパリパラリンピックに2、3年生のみなさんが昨年の2月に講話をしていただいた前川楓（まえがわかえで）選手が走り幅跳び競技で出場されます。



講演でもパリに向けての熱い思いを語っていただきましたが、見事にその夢を実現し、リオデジャネイロ大会、東京大会に続く3度目のパラ五輪出場となりました。競技は9月5日に行われます。2人の活躍を応援しましょう。

保護者のみなさまへ ～校舎の長寿命化工事が行われます～

この夏休みから1月末にかけて、校舎の長寿命化工事が行われます。工事の内容は、生徒昇降口のバリアフリー化、エレベーターの設置、普通教室・廊下の壁等の改修、A棟外装改修です。工事期間中は中庭の駐車場が使えないため、グラウンドの一部が職員等の駐車場となります。正面駐車場も工事区画にあたる場所は駐車ができなくなります。そのため、学校へお越しの際には駐車スペースがこれまで以上に限られてしまいます。また、普通教室・廊下を改修する夏休み期間中は生徒昇降口の使用ができなくなり、体育館渡り廊下での出入り口が昇降口となりますし、A棟、B棟の階段も利用できなくなります。お越しの際には様々な面でご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。きれいになった教室で2学期が始まることを楽しみにしています。

橋北中学校「慰霊の日」について

昭和30年（1955年）7月28日、橋北中学校の生徒が水泳訓練中に亡くなるという、痛ましい水難事故が起きました。当時は各校にプールがなく、橋北中は水泳訓練を近くの海で実施していました。全校生徒のうちの約400名の生徒と引率の教員20名が参加し訓練が行われましたが、訓練開始直後の午前10時ごろ突然発生した異常な波に、100名ほどの生徒が流され、36人の生徒の命が失われてしまうという悲しい事故となりました。



事故の起こった海岸近くには、現在、犠牲となった方々を悼んで、「海の守り」という慰霊碑が建てられています。

毎年、7月28日を慰霊の日として、犠牲となった方々を悼み、生徒、保護者、教員の代表が参加し、慰霊祭を行っています。今年も生徒代表、PTA本部役員の方々が集まり、慰霊碑周辺の清掃と献花を行います。慰霊の日を迎えるにあたり、あらためて命の大切さを考え、日々を大切に送っていきたいと思います。